



知夫小中学校
Tel 08514-8-2015
Fax // 8-2312
〒684-0100
知夫村 1053-1
[HP] <https://www.chibumura.ed.jp/>

校内スポーツ大会

体育主任 柴木真和

十月二十七日に校内スポーツ大会が行われました。今年度は、「ちびリンピック」と名前をつけ、オリンピックイヤーにふさわしい演出や競技で盛り上がりしました。準備の時間が限られた中で、生徒会や各委員会が工夫を凝らし、参加した児童・生徒みんなが金メダルの笑顔でいたことが印象的でした。これで今年度の大きな体育的行事は最後となりましたが、春から積み重ねてきたものが発揮できたのではないかと思います。大会当日はたくさん保護者の皆様にご参観いただき、本当にありがとうございました。

小学部三年 崎 拓夢

スポーツ大会をして、リレーで一しゅうと少しだけ走ってつかれました。だけど、全力で走れたのでよかったです。スポーツ大会を楽しんでいたのでよかったです。

小学部三年 山根優里

ちびーイーツで、何回かたおれたけれど、結人くんといっしょに最後まではこべてよかったです。つな引きでは、手がいたくなかったけれど、最後までいっしょけんめいひっぱってたのしかったです。リレーは、はやく走ることができてよかったです。

中学部二年 山根暁人

僕は保健体育委員として自分の仕事がきちんとできました。また、準備や片付けでは、自分のすべきことが終わったら、ほかの人を手伝って協力してできたのでよかったです。大会の競技はそれぞれの委員会で考えました。色々工夫して完成した競技はものすごく楽しかったです。これから

【学校教育目標】
未来を切り拓く
心豊かでたくましい
知夫の子どもを
育成する

【めざす子ども像】
・自ら学ぶ子ども
・共に生きる子ども
・たくましく
生きる子ども
・ふるさとを
愛する子ども

らも、自分たちで考え、みんなで協力していろいろな活動がんばりたいです。

中学部二年 萬 翔瑛

スポーツ大会の感想を一言にまとめると「最高でした。どの委員会の企画も工夫が凝らされていて、一筋縄ではいかない感じがとても面白かったです。僕は二〇二二cm走で選手紹介を行いました。いくつかスベったネタもありましたが、結果的にみんなが笑ってくれたのでうれしかったです。この行事を最後に児童生徒会は僕たち二年生に引き継がれました。僕たちも先輩方のようにこんな楽しいイベントを企画していきたいです。

小学部三年 谷野慶都

今年度は新型コロナウイルスの影響でいつも通りの村民体育祭ができませんでしたが、小学一年生から中学三年生までが協力して楽しいスポーツ大会をすることができました。準備が遅れたり、リハーサルがスムーズに進まなかったりすることもありましたが、小学生にもたくさん手伝ってもらい、本番は成功することができたので良かったです。最後の体育祭をみんなで楽しむことができました。良い思い出になりました。



小学部五・六年修学旅行

小学部五・六年担任 三島 健

十一月四日～六日の二泊三日で、小学部五・六年生が修学旅行に出かけました。コロナ禍の中、二度に渡る延期、旅程の変更を経て、何とか島根県内で実施することができました。カラコ工房でパワーストーンアクセサリーを手作りしたり、出雲大社を参拝したり、しまね海洋館アクアスで看板イベントの白イルカショーを見たり、石見銀山の長い街道をみんなで歩いたり、本来の広島・岡山方面に負けない、盛りだくさんの内容でした。私たちの住んでいる島根県についての知見を広げたり、よさを再認識したりする貴重な経験となりました。

今回、子どもたちの心の中に、「修学旅行」が思い出の一つとして残ったことが何よりの収穫だったと思っています。修学旅行の実施に際しまして、ご理解・ご協力をいただきました保護者、関係者の皆様、ありがとうございました。

小学部六年 高田 明

この二泊三日では色々な方にお世話になりました。ガイドの石倉さんの話を聞いて、知らないことが知れてよかったです。島根県でも知らないことはまだまだあるなと思いました。帰ってきたらお母さんに会えてうれしかったです。また、みんなで帰りたいです。



全隠岐駅伝大会

体育主任 白川泰聖

十一月七日に行われた第七十三回全隠岐駅伝大会混成の部に参加しました。大会当日は生徒からは緊張している様子が感じられました。結果は混成の部二位という結果に終わり、とても悔しい気持ちではありますが、本校から二名区間賞を受賞することが出来ました。練習の成果が十分に発揮されたのではないかと思います。また、惜しくも区間賞を受賞することが出来なかった生徒も全区间二位という結果で、一生懸命走っている姿がとても印象的でした。来年度は部門一位を目指し、生徒と職員一同力を合わせ、日頃の体力作りなどに取り組んでいきたいと思っております。保護者の皆様には生徒への温かいご支援をありがとうございました。

中学部三年 並河敢大

僕は全隠岐駅伝大会でがんばる力がすごかったです。区間賞がとれてよかったです。でも、昨年よりも自分のタイムは落ちていたのは少し残念

でした。また、チームとしても、昨年は二位で、今年も去年よりも全体のタイムは早くなっていたのにまた二位だったので、悔しかったです。また、こういう機会があればぜひ挑戦してがんばりたいと思います。応援ありがとうございました。

中学部三年 堀江康平

僕はこの駅伝大会で悔いのない走りができたと思います。三年生最後の行事として全力を出し切ることができました。今回キャプテンとなり、やる気だけは負けないようにしようと思いがんばってききました。結果は二位でしたが、みんながタスキをつないでがんばれた大会でした。今まで一度も走れなくて、毎年「来年は走ろう」と思っていたので、最後の年に走ることができてとても嬉しかったです。

中学部三年 吉田百花

私は駅伝の本番に向けて、一カ月前から、学校の練習に加えて自主練習にも取り組みました。しばらく続けていると、以前よりも足が速くなり、「頑張ればその分だけ成果が出る」という言葉が本当であるということがわかりました。大会では、みんながタスキを無事にゴールまでつなぐことができ、中学校生活の良い思い出の一つになりました。結果は二位でしたが、みんなが全力で走りきることができたので良かったです。



中学部三年総合

中学部三年担任 堀川洋平

中学部三年生は総合的な学習の時間に二つのプロジェクトを行っています。「だんだんプロジェクト」では、家族会議やエンディングノートの普及を目指しています。「イベント開催プロジェクト」は、活性化協議会の仕組みを使いながら知夫がより盛り上がるようなイベントを企画・運営する取り組みを行っています。

どちらもどっさり祭りに出展し、「だんだんプロジェクト」は家族会議やエンディングノートの重要性を訴えるプレゼンテーションを、「イベント開催プロジェクト」はフリーマーケットを行いました。準備期間に様々な課題や問題に直面し、何度も計画を修正しながらも良い形でどっさり祭りを締めくくることができました。成果発表まで残り僅かな時間ですが、最後までやりきってほしいと思います。

中学部三年 永谷幸綱

私たちはどっさり祭りで、だんだんプロジェクトチームとしてイベントを行いました。知夫のエンディングノートを活用してもらうことや、家族で話し合いをしてもらうことを目的に、話し合いの大切さやエンディングノートを書くことのメリットをパンフレットや動画でPRしました。準備から三人で協力してでき、まだ活動全体の中間地点ですが、よいイベントになりました。来てくださった方や協力してくださった方に感謝したいです。

中学部三年 河野真奈

私たちはどっさり祭りでフリーマーケットを開催しました。たくさんの方々が来てくださり、楽しんでもらうことができました。準備では、計画通りにいかなかったり、具体的な役割分担ができていなかったりと改善点が多くありましたが、本番では四人全員が力を合わせてよいフリーマーケットにすることができました。これからも地域活性化に向けて頑張ります。

中学部三年 谷 健児朗

僕たちイベント開催プロジェクトチームは、「交流」「貢献」「継続」という三つの目標のもと、フリーマーケットを開催しました。当日は、地域の方に積極的に話しかけることができ、多くの商品が売れました。売り上げは、知夫のためになる団体への寄付を検討しています。今回改めて、地域



ふるさと学習発表会

の方と関わる学びの良さに気づくことができました。商品を提供してくださった方や、足を運んでくださった方への感謝の気持ちを忘れずに、これからの活動に励んでいきたいと思っています。

小学部教頭 川本美和

十一月十九日の午後からふるさと学習発表会を行いました。小学部一年生から中学部一年生がそれぞれ生活科、総合的な学習の時間に学んだことをまとめ、堂々と発表しました。低学年は知夫弁で劇を、中学年は体験を通して学習したことを発表しました。また、高学年と中学一年生は知夫の課題について考え、その解決に向けて提案を行いました。

これからもふるさと知夫を知り、学び、考えることで、知夫を愛する気持ちと共に様々な力を身につけたいと考えています。ご協力いただいた保護者の皆様、地域の皆様に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

小学部二年 稲澤敢大

ゆめさんがさいしよに「ぼんぼこ ぼんぼこ」と言っていて、よかったですと思います。れん習の時には一人でわががができなかったけど、一人でわがができるようになったので、よかったです。

小学部二年 山根陽樹

めあてどおりにできたけど、まちがえたからちよつとれんしゆうがいると思えました。友だちもできていたから、一・二年のさいしよのげきが上手にできたんだなと思えました。

小学部五年 石橋怜星

ぼくたちはどっさり祭りについて調べて、どっさり祭りの前にはふれあい文化祭があったということが一番の発見でした。知夫以外の人にも話を聞けたので、分かりやすい発表になったと思います。次は野だいこん祭りや他の祭りも調べてみたいですね。

小学部一年 三浦 楓

「地域の人を巻き込む」というテーマで、僕は「雪合戦を実施したい」と提案しました。一度試

しに新聞紙を丸めたものでやってみましたが、わかりにくいところがあったので、ルールや説明などをもっと詳しくして、学校みんなや地域の人にもわかるようにしていきたいと思っています。冬に雪合戦ができるように、敷さんと協力してこれからはがんばっていききたいと思っています。

中学部一年 山根里桜

インタビューやアンケートを作るのが大変でした。パワーポイントを作るのが一番難しかったです。本番では緊張しましたが、すらすら話すことができました。来年の子ども議会では、もっといろいろなことを調べて、みんなでいい発表にしたいです。

中学部一年 山本凜里

去年の発表会で自分が話したことをもとに、今回発表をしました。どうすれば知夫がよくなるのか、そのためにはどんなことをすればよいかを考えるのが大変でした。本番では、自分ががんばった動画が「良かった」と言われたのでホッとしました。しかし、質問や感想を言う勇気が出せなかったのが少し残念でした。次はがんばって発言したいです。



お詫び
前号の各種入賞記録で、小学部一年前原由芽さんの島根県硬筆書写コンクール銅賞が抜けておりました。大変申し訳ありませんでした。